

検証 JR革マル浸透と組織私物化の実態！

民主化闘争情報 [号外] 2009年5月20日 発行 日本鉄道労働組合連合会 (JR連合) 【No.14】

JR総連と東労組前委員長の党員名は...!

本間氏の証言で、革マル派が暴露してきたJR総連関係者の「秘密党員名」の存在が事実である可能性がきわめて高まった。前号で紹介した本間氏の証言は、以下の通り続く。

(被告代理人) 前回の法廷で、小田さん(注: JR総連前委員長)と石川さん(注: 東労組前委員長)という方が出廷されましたが、この方たちのペンネームというのは御存知ですか。

(本間氏) 小田さんは立花だと思います。

(代理人) 石川さんは、(本間氏) 石川さんは仁志だと思います。

(代理人) 石川さんの仁志というペンネームは、なぜそういう名前になったのか、御存知ですか。

(本間氏) 私の知っている限りでは、石川さんはジャイアンツのファンでして、仁志選手がジャイアンツにいた当時、仁志選手のファンだというふうに聞きましたんで、それで仁志というふうに付けたというふうに記憶しております。

(代理人) 改めて確認ですけれども、小田さんや石川さんがそういったペンネームを持っているということは、この二人とも革マル派のメンバーだということですか。 (本間氏) そうです。

何と、JR総連前委員長の小田氏は「立花」、東労組前委員長の石川氏は「仁志」という秘密党員名を持つ革マル派メンバーだというのだ！小田氏は2月17日に行われた「週刊現代裁判」の証人尋問で、この件について、次のように証言している。

(被告代理人) そういった学習会(注: 解放」を読むような学習会)に参加するときのメンバーは、秘密保持のため、本名とは違う名前呼び合ってたということはあるですか。 (小田氏) あるんじゃないですかね。もう大分前のことですから。

(代理人) あるかどうか覚えているでしょう。 (小田氏) あるんでしょうね。

(代理人) 何というペンネームですか。 (小田氏) 私ですか。

(代理人) はい。 (小田氏) 私は忘れたんですが、先ほど主尋問で、坂入さんの件で告発をしました。この告発をしたことについて、革マル派は私は労働者階級の敵であると、階級敵であるというような記事がでた、その辺りにたしかうすら記憶しているんですけども、私の名前を先に言って...立花というふうにかかれた記憶があります。ですから、そういうふうに通強会に行き行って使っていたのかもかもしれません。

革マル派は小田(立花)氏の「過去30年にわたる活動歴」を暴露！

小田氏自身の証言通り、革マル派は小田氏を「立花」と繰り返し呼んでいる。同派出版社の「解放社」発行の「連合型労働運動に抗して」(2001年4月)にある「犯罪者の『要求書』への回答」なる論文(p.182)には、「立花(小田の党名)」「小田裕司としての党員たる立花は」「立花は自己自身の過去30年にわたる革マル派としての活動歴を胸に手をあてて考えよ」「小田としての立花の」「立花としての小田裕司へ」などと書かれている。当時、現職JR総連委員長であった小田氏は、革マル派から「30年にわたる活動歴」を暴露されたうえに、本間氏によれば、少なくとも2002年まではJR革マル派のカンパを集約していたという。これで「革マル派とは関係ない」と言われても、信用できるはずがないだろう。